



2023年3月23日

各位

会社名 株式会社G S I クレオス
代表者名 代表取締役 社長執行役員 吉永 直明
(コード番号:8101 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員 経営企画部長 小野 国広
(TEL. 03-5418-2122)

通期業績予想の修正並びに投資有価証券売却に係る特別利益及び 貸倒引当金繰入額等の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2023年2月3日に公表いたしました2023年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日~2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 130,000	百万円 2,400	百万円 2,400	百万円 1,700	円 銭 138.70
今回修正予想(B)	130,000	1,600	1,700	1,700	138.70
増減額(B-A)	0	△800	△700	0	
増減率(%)	0.0	△33.3	△29.2	0.0	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	111,829	2,008	1,882	1,638	132.95

2. 修正の理由

2023年3月期の通期業績予想の修正につきましては、2023年2月3日に開示しましたとおり、輸出生地および半導体関連事業が好調に推移し、為替の好影響もあり、売上高は期初の予想を上回り、各利益におきましては押し下げ要因があるものの、期初の予想通りに推移するものとしておりました。しかしながら、下記4.に記載のとおり、一部取引先に対して貸倒引当金繰入額等を計上することにより、2023年3月期の営業利益及び経常利益は前回発表予想を修正することとなりました。

一方、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、下記3.に記載のとおり、投資有価証券売却益の計上を予定しているため、前回発表の予想数値を据え置いております。

これら一過性要因の影響を除く通期業績は概ね想定通りに推移しており、今後精査いたしますが、中期経営計画の目標数値は達成可能と判断しています。また、2024年3月期の通期業績予想は2023年3月期通期の決算発表時での公表を予定しています。

なお、配当予想に変更はありません。

3. 投資有価証券売却に係る特別利益の計上について

保有する投資有価証券の一部売却により、2023年3月期第4四半期において、特別利益（投資有価証券売却益）を計上いたします。これは、資本効率の向上、資産の効率化及び財務体質の強化を図るものであり、政策保有株の貸借対照表計上額の連結純資産に対する比率を20%未満に引き下げることとなります。

① 投資有価証券売却の内容

当社保有の国内取引所非上場の有価証券

② 投資有価証券売却益（予定）

8億円

4. 貸倒引当金繰入額等の計上について

当社の繊維事業において、昨今の急激な為替変動、原料価格や物流費高騰の影響により業績悪化が懸念される特定の取引先の財政状態および経営状況を検討した結果、貸倒引当金繰入額等を2023年3月期第4四半期において、販売費及び一般管理費にその他債権に対する引当を含め計上（約6億円）いたします。なお、当該債権の内容につきましては、該社の経営状況が未公表であることから詳細の開示は控えさせていただきます。

以 上

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。